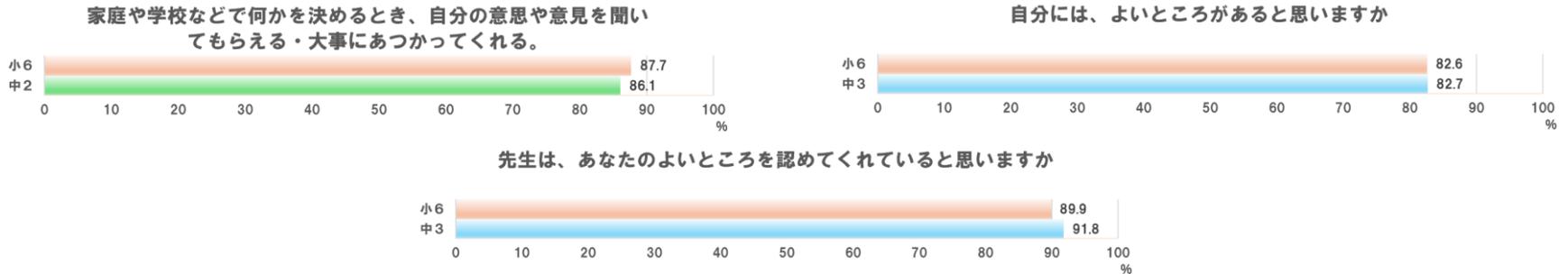


こどもをまんなかにした **ふくしまならでの学び** に向けて

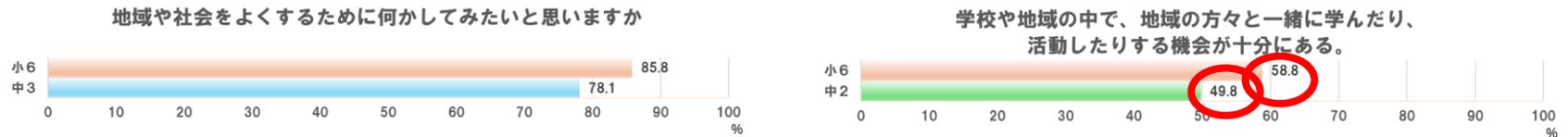
子どもを大切に、子どもの自己肯定感を育む大人たち

- 大人は子どもの意思や意見を大切に、子どもの自己肯定感を育てている。



地域に貢献したいと考えている子どもたち

- 小中学生ともに地域や社会に貢献したいという気持ちがあるが、**地域と協働した活動の場の設定に課題**がある。



人の役に立ちたいと考えている子どもたち

- 小中学生ともに人の役に立つ人間になりたいという気持ちはあるが、**学年が進むと将来の夢や目標の具体化が難しくなる**。



※ 調査対象が小6、中2となっている項目・・・令和6年度こどもまんなかアンケート（福島県こども未来局）

※ 調査対象が小6、中3となっている項目・・・令和6年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）

いずれも、「当てはまる（そう思う）」「どちらかという当てはまる（そう思う）」を合計した値。

こどもをまんなかにした **ふくしまならではの学び** に向けて

義務段階における目指すこどもの姿のキーワード

子どもが、自ら考え、学び続ける環境を実現

学びの主体は子どもであり、子どもの学びや成長のプロセスに沿った支援が必要

教師（大人）が学びを主導するのではなく、子どもの学びに大人が伴走



遊びを通した学び （幼稚園等）

- こどもの好奇心や日常の出来事から広がる学び
- ・自立心・協働性
- ・社会生活の関わり
- ・思考力の芽生え
- ・豊かな感性と表現 等



探究的な学びの充実へ

各教科や総合的な学習の時間等において、一人一人の興味や発達段階に応じて、自ら問いを立て様々な情報を整理し、考えながら解決しようとする学びを充実

- 自ら学ぶ力
- 思考力・判断力・表現力の向上（小学校・中学校）
- 問題解決能力の育成
- 地域とのつながりの意識
- 個別最適な学びの実現

など

総合的な探究の時間等での学び （高校）

→ 新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。



幼児期から思春期にかけて目指すこどもの学び

幼稚園・こども園等 小学校 中学校 高等学校

遊びを通した学び

体験を重視した学び

可能性を広げる学び

課題解決力を
深める学び

人生を切り拓く **たくましさ**、他者との対話、協働 ⇒ **地域や社会を創造する力**